

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年3月19日朝刊西部版



原始的なセイウチ「ネオテリウム」の右の下顎とみられる化石

島根県邑南町の教育委員会は18日、町内の約1600万年前の地層から国内で初めて、原始的なセイウチ「ネオテリウム」の化石が見つかったと発表した。調査した国立科学博物館の主森巨支援研究員によると、これまでは北米だけで見つかった。今回の発見で、ネオテリウムが高い移動能力を持ち、北太平洋の東西に広く分布していた可能性が浮上した。

国内初 北太平洋に広く分布？

原始セイウチ「ネオテリウム」化石発見

地元住民が2010年ごろ発掘、19年夏から専門家に調査を依頼していた。町内ではこれまでも海洋生物の化石が見つかった。今回の成果は18日、古生物学誌「ストリカル・バイオロジー」に掲載された。

化石は右の下顎とみられ、縦5センチ、横11センチ、幅1.5センチほど。一般的な体長は2メートル前後とされる。今のセイウチのような長い牙はなく、アシカに近い姿と考えられている。周辺は当時、浅い海だったらしい。化石は、ひれ状の足を持つ水陸両生の哺乳類「鰭脚類（きぎやくるい）」の進化史を知る手掛かりになるとい



- ①記事の「ネオテリウム」とは何のことですか。(**原始的なセイウチ**)
- ②「ネオテリウム」はどんな姿をしていたと考えられていますか。
(**(例)一般的な体長は2メートル前後で、今のセイウチのような長い牙はなく、アシカに近い姿と考えられている。**)
- ③見出しの「北太平洋に広く分布？」の「？」にはどんな意味がありますか。「？」と同じ意味で使われている表現を記事中の文章から抜き出して書きましょう。
(**可能性(が浮上した。)**)
- ④「ネオテリウム」の化石の発見からは、どんなことが分かってくる可能性がありますか。40字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)ネオテリウムが高い移動能力を持ち、北太平洋の東西に広く分布していたこと。(36字)

(例)ひれ状の足を持つ水陸両生の哺乳類「鰭脚類」の進化史を知る手掛かり。(33字) など

年 組 名前